札幌北陵高校

グループ見学に成果

一年かけて事前調査

貴重な資料まとまる

【札幌発】北海道の道立高校では修学旅行を道の基準に基づいて一年で宿泊研修、二年に見学旅行の二本建てとして実施しているが、札幌北陵高校（本間末五郎校長）が昨年秋におこなった見学旅行ではグループ別に研究テーマを定め、事前調査をしたうえで実施、同校の重点目標は完全に達成した。さらに事後処理としてはB5判百八十四ページにおよぶ「見学旅行のまとめ――研究と記録」を発行、貴重な資料として残した。本間校長も「調査目的以外に人間はどこにあっても心の通いあえるものであることを体験したことが大きなプラスだった」と語っている。＝写真は「見学旅行のまとめ」

友情深める場にも

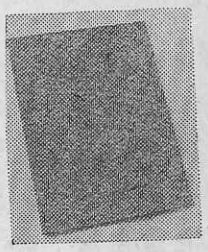
見学旅行は新設の同校としては二回目。「移動教室」「自主研修」「集団生活」を柱として、北海道と異なる地域の風土、歴史、文化に密着した研修旅行をめざした。そのために生徒自らが目的をもって研修にのぞむことが肝要であると考え、グループ別の研修テーマの自主設定、事前研修の強化と資料作成への参加、研修日誌の記録とまとめなど創造的活動の部面をとくに配慮した。そして①見学旅行を通して日常の学習内容の深化拡充をはかる。②グループによる自主研修をすすめる。③集団生活の秩序を守り相互の親和をはかるなどを主目標とした。

そして十月二十四日から五泊六日で関西方面と決定、第四日目をグループ研修にあてることにし、一年前から準備ととりかかった。各クラスでグループを編成、それぞれテーマをきめ、調査レポートを提出するなど万全を期した。

五十三班におよぶグループの年間を通じての研究はしだいにまとまり、あとは実地の研修だけとなり、十月二十四日の出発を待った。

グループの研究テーマは京都の風光や諸文化財、産業など生徒同士の発案になるものばかり。実際に見たり触れたりしたことと「ねらい」や事前研究とのかかわりあいなど、かなり複雑なものもあったようだが、本間校長のいうように風物との触れ合いばかりでなく人間と人間との暖かい交流を得ることができた。

見学旅行終了後、同校では生徒に対してアンケートを求めたが、



それによると①団体行動では「多くの友人と交流ができた」三一・九%、「古都や遺跡に親しむことができた」二八・八%、「日本の伝統にふれた」一五・五%など。②グループ研修や自由行動では「古都の味に親しむ」一自分で確かめる」がそれぞれ三三・九%、「友との交流ができた」が一七・六%で、修学旅行が友情の場でもあったことを示していると同時に「人間関係のむずかしさと大切さ」も今回の旅行で学んだことの一つだとしているのが注目された。

以下、見学旅行の「ねらい」と「まとめ」の中から、おもなものをあげてみよう。

京扇子

二年二組第四班（女子）

【ねらい】日本の文化都市として知られている京都は、多くの伝統産業を育てているが、今日、それらは後継者、そのほかいろいろな問題をかかえていると聞く。そこで、伝統産業のあゆみと、これからどうあるべきかを、京扇子について調べることにした。

【まとめ】私たちは研修を終えて、ほんとうによかったという気持ちでいっぱいだ。路地裏の、うす暗い十間奥の急な階段を登ったところの仕事場。あんなかからあれほどまでにすばらしい扇子ができあがるとは信じられない気がするほどだ。京扇子の職人さんたちの誇り、文化、社会が進み、労働者としてみられるようになってきても、「職人さん」とよばれることが一番うれしいといった京都の人の人情味を感じた。

京都の伝統工芸の歴史や扇子の工程を知ったことはもちろんであったが、あの京ことば、親切な説明、私たちに京都をいっそう印象深くさせ、私たちの高校生活のなかにおいて忘れることのできないものに、このグループ研修はなるであろう。

京都の味

二年三組第二班（男子）

【ねらい】私たちはこんどの修学旅行で京都の味、その代表的なものである「湯どうふ」、本場の「湯どうふ」を食べてこよう。味わってこよう。

【まとめ】実地研修がわずか一日と短かかったため、完璧に京の湯どうふの味をとらえたとはいえないが、古い伝統と自然の美しさの中に生まれた京の味に少しでも触れることができたことに満足している。あの豆腐のやわらかさ、それでいて箸でつかんでもくずれないおもしろさ、そして舌ざわりのよさなど、そのすばらしさは思い出の一つとしていつでも心に残ることだろう。また、南禅寺、天竜寺付近の澄みきった空気、美しい自然などほ、なんともいいあらわせないすばらしさだった。

【広報部付記】この班は二か所で湯どうふを食べている。一か所の湯どうふは味が濃く、あきやすいようだとしている。結局、古い店のほうが味がよいとして「長い伝統」によるのだと結論を出した。また、どの店の看板も湯豆腐と漢字を用いず、湯どうふと平仮名で書いてあるのが不思議だが、しかし、平仮名の持つ素ぼくさが湯どうふの味につながるものであるといっている。さらに田楽、ゴマどうふなど、北海道ではめずらしいものに接し、うれしく感じたと書いてあった。

＝茨城県中学校修旅委開く＝

ブロック組織確立へ

新委員長に吉田四郎氏

【関東支局】茨城県中学校修学旅行委員会の本年度第一回委員会は総会をかねて五月十四日、水戸市朝日町の市立第三中学校に全県から中学校長約七十名が参集して開催。昨年度の事業・決算報告、本年度の事業計画、来年度の新幹線利用学校の植付けなどを協議したあと新しく委員長には吉田四郎氏（永塚中学校長）が選出された。同委員会では本年度の目標を下部組織の強化に置き、円滑な運営を図ろうとしているのが注目された。

幹事会設け運営

水戸市

栗木委員長の開会あいさつのあと岩崎武夫（関修委運営委員・全修協研究調査部長）鎌田昭（国鉄水戸鉄道管理局販売センター係長）両氏のほか旅行斡旋業者があいさつし、委員長が座長になって協に入った。

①四十九年度事業・決算

五十年度の新幹線利用の修学旅行は七十五校約一万五千名で来年は四校ほど増える。東北線のつなぎ臨時列車の運転不能で結城、古河地区の五校に迷惑をかけた。集約列車を利用しない学校もあるが、特急料金五割引きの特典がないばかりでなく、ストや災害時の応急措置がとれぬ場合もあるのでぜひ傘下に入ってもらいたい。運営の財源は乏しいが、ことしから関修委と共同で「近畿の旅」を編集し採用することによって財源の一端をおぎなうと説明があり、監査報告のあと決算を承認。

②本年度の事業

運営の高度化をはかるためブロック組織を強力にすすめたい。水戸市の例をとると、市内十校の三学年主任を中心に幹事会を設け、旅行計画のほか要保護生徒の旅費申請手続きなども市教委と連絡して行っている。また、共済制度を設け、事故などの応急対策に活用している。このブロック制度を全県に拡大し、連絡の緊密化をはかりたい。

③五十一年の新幹線植付け

国鉄の鎌田氏は「東北線のつなぎ臨時列車が運転不可能で一部の中学校に不便をかけてすまない。常磐線については現在のところ支障はない。本年十月以降、乗務員などの事情は好転する見込みだが東北線については不明だ」また岩崎氏は「東北線を利用する栃木県は万一に備え来年度も定期列車に分乗することにし、現在その作業をすすめている。また待望の「ひかり」二本建ては東京発午前八時三十六分（四月十二日―同二十三日、五月七日―七月八日）と午前十時三十六分（六月一日―同三十日）で、春季だけで実施できるよう検討中である」と説明した。

つなぎ列車を東京駅まで延長できないか、との質問に国鉄側から「東京駅はホームの拡張工事をしており、入線するホームがない」と答えた。

全県の中学校長が集った茨城県修旅委員会（水戸三中で）

つづいて本年度の役員選出を行い、最後に新旧役員の挨拶があって午後一時閉会した。

新役員は次の通り（敬称略・順不同）

▽委員長　吉田四郎（永塚中）
▽副委員長　助川明（水戸四中）
神坂重光（古河二中）▽監事　加茂川澄（勝田二中）渡辺博包（土浦四中）

またブロック長は【中央】助川明（水戸四中）【県北】長谷川好久（中郷中）【県西】神坂重光（古河二中）【県南】小松沢重夫の諸氏に決った。

なお前委員長の栗木正氏（水戸三中校長）は県学校長会長に、前学校長会長の佐藤武男氏（前水戸二中校長）は県学校給食センター理事長にそれぞれ就任された。

朝日新聞（東京）五月九日付朝刊に一中学生の投書が掲載された。「ぼくたちは修学旅行に行きたい」と題し、こんどの交通ストで楽しみにしていた修学旅行が取りやめになったことに対する訴えである。子供の夢を砕いたものはいったい何だろうか。

★

修学旅行の時期を迎え、私や友だちは五月八日を楽しみにしていました。ところが、ゼネストで国鉄は不通。せめて修学旅行臨時列車はと思いましたが、絶対動かさないとのこと。どうしたらよいのかと途方に暮れてしまいました。先生方も必死に陳情してくださいましたが、結果は冷厳でした。

相馬市では三校。他の地域でも多数の学生諸君が被害をこうむったでしょう。国鉄の組合の方の意見にも筋が通っています。でも私たちは何も悪いことをしていません。組合の最後の手段が国民への被害ということになるのは一国民として大変、不可解なことです。毎回のストの被害は多大なものです。組合の方が不満に思われるのは私たちが悪いからなのですか？　なのになぜ私たちは修学旅行で頭を痛めなければならないのでしょうか。

この原稿は相馬市立中村一中、同磯部中、同尚栄中の六百余人の怒りをまとめたものです。（相馬市・早川和彦、中学生・15歳）

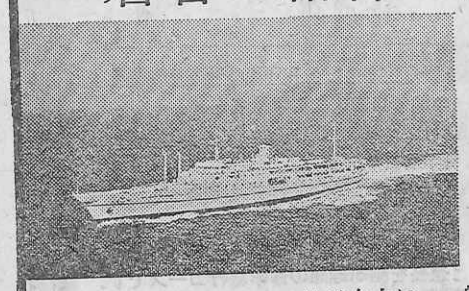
社寺の団体拝観料

①京都・四月から

京都のおもな社寺の団体拝観料金は次の通り。（四月から、いずれも三十名以上、単位円）

▽化野念仏寺（高中とも六〇）▽円通寺（高中とも一五〇）▽勧修寺＝庭園だけ（高八〇、中四〇）▽金閣寺（高八〇、中四〇）▽祇王寺（高中八〇）▽銀閣寺（高一二〇、中五〇）▽桂春院（高中とも一〇〇）▽高桐院（高一二〇、中六五）▽広隆寺（高一五〇、中一〇〇）▽興臨院（高一二〇、中九〇）▽金地院（高一三〇、中六五）▽金福寺（高中とも八〇）▽西芳寺（高一六〇、中一二〇）

若者・紺青の海・純白の船



貸切専用純客船
ふじ（3,000トン）
にほん丸（3,000トン）

・スケジュール・コースはご自由に
・旅客定員 1,800名
・サロン・休憩室・医務室完備
・船内でのグループ活動・学習に最適
・全室エアコン完備
・一般客との混乗なし

Ⓐ大島運輸株式会社東京支店　東京都中央区日本橋通1－3－11 浅野ビル9F　TEL 03-273-8911

修学旅行のメッカ本郷へ

安心して泊れる旅館

東京のお泊りは文教の地"本郷"で

環境・交通は修学旅行に最適です

近畿日本ツーリスト協定旅館連盟東京支部本郷地区会員で経験する仕奉

武蔵野館　文京館　ふたき旅館
平安荘　真成館　追分旅館
朝陽館本家　富士館　長栄旅館
本郷館（本館・別館）　朝明館　春養館
日本学生会館　機山館
旅館かつら　旅館大正園
（順不同）

富山県の文化 <1>

雷鳥伝説も多い

清水　巌

たち山に　降りおける雪を　常夏に　見れどもあかず　神からならし（家持）

立山―海抜三〇一五㍍。遠く万葉の昔から歌に詠まれ、日本三霊山の一つとして尊び、あがめられてきました。

近年は、日本アルプスとして登山家の注目をあび、最近開通したアルペン・ルートにより身近かな〝山〟として、多勢の観光客を集めています。

立山のおいたち

立山は、日本列島を支えている日本最古の飛騨変成岩（約十二億年前）によって形成され、日本のなりたちを調べる上にも大切な場所とされています。

その他、白亜紀の終りころ、激しい地殻の変動により「衝上断層」が形成され、氷河期の訪れは山岳氷河を発生し、山崎カールとともに雷鳥の棲息地として今にその名残りをとどめています。

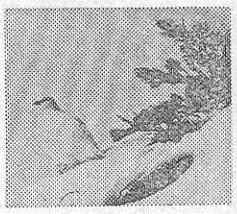
立山開山の伝説

文武天皇時代、越中国守・佐伯有若越中守の一子「有頼」が十六歳のとき、父愛用の白鷹を無断で持ち出し鷹狩りに出ました。

しかし、鷹は何に驚いたのか急に東南の方角に飛び去ってしまいました。有頼は、その白鷹を求めて山に入り、とある松林で目指す白鷹を見つけました。けれどいま一歩のところで急に熊に襲われ、その熊に矢を射こみましたが、再び白鷹を見失ってしまいました。

憎い熊めーと有頼はしたたる血痕の跡をたどり、とうとう宝堂の玉殿岩屋に熊を追いつめました。今度こそと思って矢をつがえるとそこには矢きずを受けた阿弥陀如来と、白鷹に身をやつしていた不動明王の二尊が立たれ、立山開山を教示されたと伝えられます。有頼は後年出家して慈興上人となりました。

なお、富山の旧家の仏檀に安置される阿弥陀如来には、胸に矢きずがあったといわれます。



雷鳥の装い（冬）

神の使い〝雷鳥〟

古来、雷鳥は山の〝神鳥〟として有名でした。

加賀藩は雷鳥の保護に深い関心を示し、慶安元年「立山一帯の雷鳥や花や松や硫黄をとり盗むものがないよう、よく見回われ」と命じています。また、科学的調査も行なわせ、立山や白山の雷鳥を実見し、その形態や生態を報告させているが、立山の雷鳥は〝ハト〟みたいに、白山は〝キジ〟に似て描かれています。

立山は、開山の伝説にちなみ、クマと白鷹が神聖視されているが雷鳥は〝立山神の使い〟として別格にされています。立山の守り札に図案化され画かれている鳥はタカなのか雷鳥なのか判別しかねるものであります。

立山信仰と売薬

昔、岩峅（立山登山口）には多数の僧侶がおり、三十八の寺坊がありました。それぞれの坊には全国の持ち場があり、毎年秋になると各地を訪れ「立山マンダラ」の軸をかけ、立山の霊験を説き、お札や霊薬や経カタビラを配布しました。

それが後の「越中売薬」の配置行商になったといわれます。

立山と国指定の文化財

▽雄山神社前立社檀本殿

立山頂上の雄山神社の里宮として建築されたようで、鎌倉将軍家の寄進と伝えられます。本殿は桧皮葺の屋根で五間社流れ造り、北陸地方では最大の神社本殿。

▽木造慈興上人座像

杉材・寄木造りの彩色像であったようだが、今は生地が露出している。なお、前方部には埴輪馬を始め形象埴輪片が多く散乱して埋没されていた。これは神流川の氾濫によるものと思われる」としておられる。往古この登窯によって埴輪を焼いたのは土師部（はじべ）の民であったと推定される

現在もこの付近の産土を焼いて藤岡瓦が供給されている。

さてこの窯でも焼成された形象埴輪については、家形埴輪、武器什器などを形どった器材埴輪、鳥獣をかたどった動物埴輪、それに男女をかたどった人物埴輪がある。とくに人物埴輪についてみると、本県では埴輪のあった百九十三か所の古墳のうち百三十か所から人物埴輪が発掘されている。これは奈良県では七十三か所中、人物埴輪があったのは僅か七か所というのに較べてどう解釈すべきであろうか。（註・三木文雄「埴輪出土地名一覧」）

人物埴輪は本県では古墳、頂部・前方後円墳の前方部・前方部湿外墓土・石室入口などから発見されている。墳丘の形、時代などにより設置の位置が変ったのであろうか。

人物埴輪は当時の服飾を知る上に大いに役立っている。また、芸術的にも高く評価されているものが多い。中でも群馬郡上芝出土の飾りだすきの女（写真）と武人は傑作として東京国立博物館に収蔵されている。

この女子埴輪は潰し島田のまげを結い、耳たぶには耳環と丸玉を飾っている。首と手首にも二重の玉飾りをまいている。右肩からかけた幅広いたすきは、三角形に並べた文様が赤色で塗りわけられている。右手を小さな乳房に寄くあて、左手を上方にさしのべて壺か杯かを捧げていたらしい。顔には両頬に一条朱をほどこしてある。女子埴輪に多い巫女の姿と推察される。

矢きずの阿弥陀如来（足下では有頼が伏している）

▽銅造立山神像

鎌倉時代・寛喜二年、立山頂上のご神体として彫刻されたもの。

神体の服装は、唐冠を戴き、うちかけをあてた唐服に唐靴をはき腰帯を前結びにし、偉あってたけからず、鎌倉初期の壮厳な面相です。永らく立山頂上の社殿に祀られたためか、立山地獄から噴出する硫黄ガスのために、像の面が硫化して、その古さを物語っています。

なお、明治維新の神仏分離の際仏像と間違えられて降ろし県外にありましたが、近年、約百年ぶりに本県にもどったものです。

その他、明治三十六年、大日岳で発見された「銅錫杖頭」＝平安時代前期の作＝と推定されるものを始め、多くの天然記念物があります。

立山に関するものとして、近年国の指定をうけ整備されつつある〝立山風土記の丘〟があり、立山に関する古文書、民俗資料など数多くのものを保存、展示されています。

（つづく）

＝財団法人・富山県教職員厚生会業務係長＝

古代の群馬を探る <9>

上代を知る手がかり

石井清二郎

石井清二郎氏

（九）芸術の香りも高い埴輪

群馬県古墳総覧に記載された古墳数は八、四二三基。その後の発見にかかるものを加えると一万基を越える大小の古墳が造られた。従って出土品も多く、種類も多岐にわたっているが、今回は埴輪について述べることにする。

埴輪については「日本書紀」に垂仁天皇三十二年秋、皇后日葉酢姫命が亡くなられたとき野見宿禰の献言によって、出雲国の土師部を召出し、埴輪を取って人や馬および種々の物の形を作って天皇に献上し、これを陵墓に立て生きた人の代りとした、と伝えている。

話としては面白く、上代の風習を反映していると思う。

今までもっとも数多く発掘されたのは円筒埴輪である。本県出土のそれには、上部があさがお状に広がった形（A）と、上端が一度くびれて再び開く形（B）のものが認められる。群馬郡保渡田所在八幡塚古墳では、A形およそ十七本ごとにB形の特殊円筒がおかれていた。B形は円筒列の方向を変ずる隅角や、列の分岐点などに使われていた。

円筒は必ずしもすべての古墳に使用されているわけではないが、本県は特殊な事情なのか、全国的には使わないようになった六世紀後半―七世紀になっても毛野（けぬ）では使っていた。（これは群集墳の研究で判明した）

埴輪円筒の効用については、境界・土止め・威厳増進・装飾などの諸々の説がなされているが、設置された状況から諸説のいずれをも含めた意味がうなずける。そにしても、一基の古墳に要する円筒の数は莫大なものであり、しかし他地方より長期間これを供給できたということは驚異に値する。

藤岡市本郷に土師（どし）明神があり、野見宿禰を祭る。ここの北方五百㍍ほどに埴輪窯跡が発見された。明治三十九年であった。その後精査され、調査報告を群馬大学元教授尾崎氏は「窯跡は約十㍍、傾斜約二十度の段丘面に登窯式にくり込んで造り付けられ、二つの部分からなっている。その前方部は焚口であり、また、風の取入口であったと思われ、ラッパ状に払がっている。長さは約六㍍、幅は二㍍であり、約十度の傾斜をもっている。後方部は埴輪を直接に焼く所で、長さ約二㍍、幅約一ないし一・五㍍で、ほぼ円筒状をなし、内壁および床は焼けて堅くなっており、その傾斜は約三十度である。なお、前方部には埴輪馬を始め形象埴輪片が多く散乱して埋没されていた。これは神流川の氾濫によるものと思われる」としておられる。往古この登窯によって埴輪を焼いたのは土師部（はじべ）の民であったと推定される

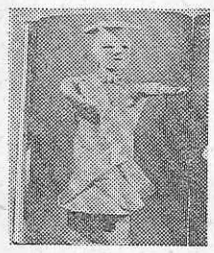
現在もこの付近の産土を焼いて藤岡瓦が供給されている。

さてこの窯でも焼成された形象埴輪については、家形埴輪、武器什器などを形どった器材埴輪、鳥獣をかたどった動物埴輪、それに男女をかたどった人物埴輪がある。とくに人物埴輪についてみると、本県では埴輪のあった百九十三か所の古墳のうち百三十か所から人物埴輪が発掘されている。これは奈良県では七十三か所中、人物埴輪があったのは僅か七か所というのに較べてどう解釈すべきであろうか。（註・三木文雄「埴輪出土地名一覧」）

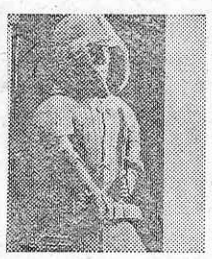
人物埴輪は本県では古墳、頂部・前方後円墳の前方部・前方部湿外墓土・石室入口などから発見されている。墳丘の形、時代などにより設置の位置が変ったのであろうか。

人物埴輪は当時の服飾を知る上に大いに役立っている。また、芸術的にも高く評価されているものが多い。中でも群馬郡上芝出土の飾りだすきの女（写真）と武人は傑作として東京国立博物館に収蔵されている。

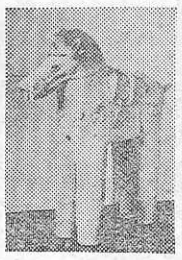
この女子埴輪は潰し島田のまげを結い、耳たぶには耳環と丸玉を飾っている。首と手首にも二重の玉飾りをまいている。右肩からかけた幅広いたすきは、三角形に並べた文様が赤色で塗りわけられている。右手を小さな乳房に寄くあて、左手を上方にさしのべて壺か杯かを捧げていたらしい。顔には両頬に一条朱をほどこしてある。女子埴輪に多い巫女の姿と推察される。



箕郷町上芝出土の「飾りだすきの女」（東京国立博物館蔵）



太田市九合出土の「武人」（東京国立博物館蔵）

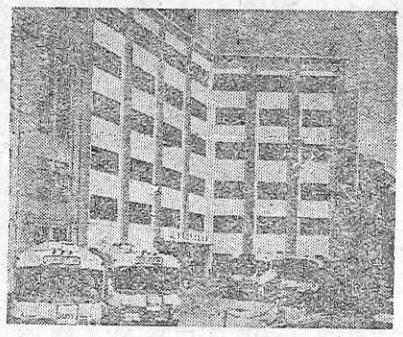


太田市出土「馬」（群馬県立博物館蔵）

なお、馬の埴輪（写真）はいわゆる力ザリ馬で、鞍、敷物〝あぶみ、おもがい、むながい、しりがい、それをかぶる鏡板、杏葉、さらにくつわが細かく表現されて往時の服飾を目の当り見せてくれる。（前群馬県中学校長会長）＝

つづく＝

修学旅行のご宿泊に……



■東京随一の環境・素晴しい展望
■交通至便・羽田から25分
■玄関前にバス15台の駐車場
■安全第一の諸設備完備
■清潔な調理場と快適な大食堂
■浄化装置の大小浴場

財団法人　修養団経営

東京青年文化会館

東京都渋谷区千駄谷4―25

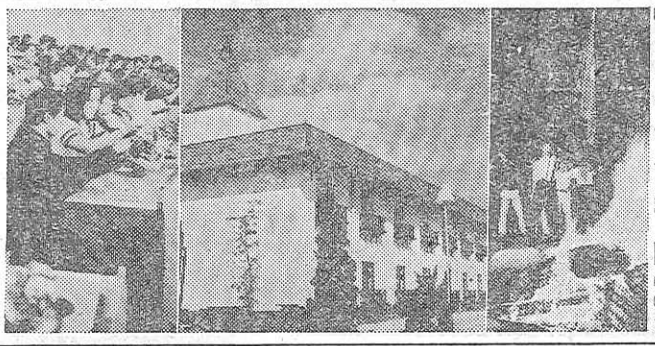
電話（403）5111（代表）

チロル風のホテルは仲良し8人が一緒です。

集団生活の安全管理と宿泊の生徒さんの自主管理の両面から入念に設計された《スズカビレッジ》

●全館冷暖房完備
●防火優秀ホテルとして昭47.7消防庁長官賞受賞

2人で1台実物のエンジンを分解・組立てる
250名収容のテクニカルホールの生きた科学教育。
空へ、水へ、緑の中へ…自分でハンドルを握る〝ゆうえんち〟。
国際レーシングコースを走るレーサー気分も……
そして陽の落ちた広場でファイアーストームを囲んで
校歌を歌うひととき――
チロル風ビレッジの一夜、翌朝伊勢湾から昇る朝日も
忘れがたいもの、どれを取っても
学生生活を刻んだキラリと光るひとコマです。



昨年一年間で11万人もの学生さんが
この思い出深い修学旅行を体験しています
「人と科学と自然の接点」
今年の修学旅行こそスズカを加えた
《新近畿ルート》をご検討ください。
スズカから京・奈良・伊勢・志摩へも2時間の距離
未来と過去を結ぶ理想の修学旅行コースです。

鈴鹿国定公園［国鉄周遊指定地］
スズカランド　鈴鹿サーキット
三重県鈴鹿市稲生町
電話＝0593〈78〉1111

株式会社ホンダランド
本社：東京都中央区八重洲5-5　☎03〈274〉5821
大阪営業所：大阪市北区南扇町15　☎06〈313〉0841